

「公共図書館における健康・医療情報サービスの実施状況の調査」報告

JLA 健康情報委員会

I. はじめに

健康情報委員会は、2009年に国立がん研究センターと共同で、全国の公共図書館を対象に「健康情報サービスの実態および『がんに関する冊子』の利用アンケート調査」を実施した。今回の調査では、前回の調査以降の変化と最新の状況についてアンケートを行った。本調査は当委員会と日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)「アクション・リサーチによる公共図書館課題解決のデザイン」研究班(研究代表者:慶應義塾大学 田村俊作)の共同事業である。また、本調査は、『図書館雑誌』2014年4月号で、問1から問10までの設問とその結果を報告している。調査にご協力いただきました回答館の方々に厚くお礼を申し上げます。

II. 調査の概要

調査対象は、都道府県立を含む公共図書館(「日本の図書館2012(電子版)のデータを「図書館年鑑2013」と対照し対象自治体を抽出)で、各自治体の中央館機能をもつ図書館に調査票を配布した。

調査方法は、事前に調査票を郵送で配布し、Web上の回答用ホームページで回答する方法をとった。何らかの事情で回答用ホームページにアクセスできない場合、電子メール等の手段で回答を回収した。調査期間は、2013年11月15日から2014年1月15日である。回答は、調査票配布館1,355館中、回答数916館(回収率67.6%, 2014年1月17日現在)であった。

III. 質問と回答

・『図書館雑誌』2014年4月号の報告では、一部の設問の文面を簡略化したが、本稿では原文のままとした。

・質問項目ごとの無回答館数は省略した。

問1 貴自治体の図書館では、“2010(平成22)年以後の3年間”で、健康・医療分野(病気, 病院,

薬, 健康法などの分野)の資料の貸出(協力貸出含む)やリクエスト, 所蔵問合せ, レファレンス質問などが増えてきたと感じていますか?

回答肢	回答館数	%
増えてきたと感じる	383	41.8 %
変化は感じない	462	50.4 %
わからない	64	7.0 %

問2 貴自治体の図書館では、2013(平成25)年10月現在、健康・医療情報について、どのような資料の収集・提供を行っていますか。

すでに業務を実施しているか、実施時期が決まっていたら「実施中(実施済)・実施予定」、時期未定だが実施について検討しているのであれば「検討中」、現時点では取り組む予定が無ければ「未定」を選択してください。

2-1 健康・医療情報の資料に関する収集基準を作成している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	88	9.6 %
検討中	76	8.3 %
未定	740	80.8 %

2-2 健康・医療情報のパンフレットを提供している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	237	25.9 %
検討中	51	5.6 %
未定	624	68.1 %

2-3 専門機関(医療・保健関連機関, 学会, 製薬企業など)のWebサイトから無料の資料をダウンロードして提供する

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	35	3.8 %
検討中	42	4.6 %
未定	832	90.8 %

2-4 図書館のWebサイトに健康・医療情報に関するリンク集をつくる

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	57	6.2 %
検討中	36	3.9 %
未定	811	88.5 %

2-5 健康・医療情報に関する新聞・雑誌記事のクリッピング(切り抜き)を提供している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	30	3.3 %
検討中	27	2.9 %
未定	850	92.8 %

2-6 診療ガイドライン(図書・電子メディア・インターネット情報源へのリンクなど)を提供している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	67	7.3 %
検討中	25	2.7 %
未定	812	88.6 %

2-7 患者会の資料を提供している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	52	5.7 %
検討中	37	4.0 %
未定	816	89.1 %

2-8 闘病記を他の NDC 分類 916 の図書と別置・提供している

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	174	19.0 %
検討中	61	6.7 %
未定	678	74.0 %

2-9 上記の資料、および一般向けの医学書や雑誌のほかに、収集・提供している資料がありますか？

回答肢	回答館数	%
ある (SQ2-9 へ)	56	6.1 %
ない	852	93.0 %

SQ2-9:どのような資料ですか。(具体的にお書きください。) (記述式)

・人体モデル、背骨・内臓シャツ、健康管理等のDVD・ビデオ、看護師向け資料、系統看護学講座(基礎医学系ではなく、臨床系の資料を一部所蔵)、看護のための最新医学講座、自治体内の病院の診察時間等が掲載されているチラシやカード形態の資料。

問 3 貴自治体の図書館では、2013(平成 25)年 10 月現在、健康・医療情報に関し、どのようなサービスを実施(もしくは実施を検討)していますか。

3-1 健康・医療情報に関する資料(図書、雑誌、パンフレットなど)を集め別置し、コーナーをつくる

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	216	23.6 %
検討中	67	7.3 %
未定	629	68.7 %

3-2 図書リストやパスファインダーを作成する

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	118	12.9 %
検討中	80	8.7 %
未定	712	77.7 %

3-3 展示を行う

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	238	26.0 %
検討中	107	11.7 %
未定	564	61.6 %

3-4 健康に関する講演会、講座を行う

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	104	11.4 %
検討中	47	5.1 %
未定	760	83.0 %

3-5 他に行っていることがありますか？

回答肢	回答館数	%
ある (SQ3-5 へ)	55	6.0 %
ない	856	93.4 %

SQ3-5:どのようなことですか。(具体的にお書きください。) (記述式)

・テーマ展示、特設コーナーの設置、パンフレット配布、県内医療関係機関と連携した健康相談会の実施、イベントでの関連資料の展示・貸出等など。

問 4 貴自治体の図書館では、健康・医療情報の提供に関連し、他部署や外部機関とどのような連携を行っていますか。下記の活動について、2010(平成 22)年以後の 3 年間に連携したことのある部署や機関すべての番号をご記入ください。

4-1 情報交換

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	184	20.1
他の公共図書館（都道府県立含）	26	2.8%
大学図書館	10	1.1%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	15	1.6%
外部とは連携していない	592	64.6

・自治体健康福祉課，保健所，保健センター，精神保健福祉センター，公立病院，大学病院，がん相談支援センター，看護学校，地元医師会・薬剤師会・看護協会，がん関連NPO，日本医学図書館協会など。

4-2 講座や相談会の開催協力

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	84	9.2%
他の公共図書館（都道府県立含）	4	0.4%
大学図書館	8	0.9%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	27	2.9%
外部とは連携していない	737	80.5

・自治体健康福祉課，保健所，保健センター，県労働者福祉協議会，県保健衛生協会，公立病院，医・歯・薬科大学，県立がんセンター，国立がん研究センター，地域包括支援センター，国立健康・栄養研究所，地元医師会・薬剤師会・看護協会・栄養士会，日本医学図書館協会，製薬会社，肝炎関連の患者会，放送大学，NPO など。

4-3 健康・医療に関する資料の収集(パンフレットの提供を受けるなど)

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	235	25.7
他の公共図書館（都道府県立含）	8	0.9%
大学図書館	3	0.3%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	50	5.5%
外部とは連携していない	502	54.8

・自治体健康福祉課，保健所，保健センター，厚生労働省，公立病院，大学病院，医科大学，国立がん研究センター，地元医師会・薬剤師会・看護協会，

日本糖尿病協会，日本歯科衛生士会，全国鍼灸マツサージ師会，中国労働衛生協会，労働者健康福祉機構，がん研究振興財団，認知症家族の会，自閉症家族会，日本医学図書館協会など。

4-4 健康・医療関連の図書館資料の貸出

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	134	15.6
大学図書館	46	5.0%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	49	5.3%
外部とは連携していない	579	63.2

・保健所，保健センター，高齢者福祉施設，公立病院，大学病院，国立保健医療科学院，製薬会社研究所，県内外の図書館など。

4-5 健康・医療関連以外の図書館資料の貸出(文学書，絵本など)

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	206	22.5
大学図書館	35	3.8%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	110	12.0%
外部とは連携していない	364	39.7

・保健所，保健センター，社会福祉協議会，子育て支援センター，高齢者福祉施設，公立病院，大学病院，介護福祉学校，国立国際医療センターなど。

4-6 外部の部署・機関での児童サービスの実施(病院での読みきかせ・おはなし会など)

回答肢	回答館数	%
自治体の他部署	220	24.0
大学図書館	0	0%
その他外部の機関（病院、保健所、NPO など）→下記、具体的に記述	92	10.0%
外部とは連携していない	557	60.8

・保健所，保健センター，県小児保健医療センター，公立病院，大学病院，高齢者福祉施設など。

4-7 そのほかの取り組みがありますか。

回答肢	回答館数	%
ある (SQ4-7 へ)	43	4.7 %
ない	853	93.1%

SQ4-7:どのようなことですか。(記述式)

・病院へ除籍図書や寄贈図書の譲渡, 入院患者への資料貸出, ブックスタート事業, 福祉施設でのおはなし会など。

問 5 現在, 一部の公立図書館では, 健康・医療情報の提供を充実させることを意図し, 例えば「健康・医療情報サービス」等の名称をつけるなどして, 関連するサービスや事業をひとつのまとまりを持った形で展開しています。

貴自治体の図書館では, このような形で, 健康・医療情報に関するサービスを実施していますか。以下から選んでお答えください。サービスのまとまりに与える名称の有無や, 名称の種類は特に限定しません。

回答肢	回答館数	%
1.実施中	127	13.9%
2.実施を決定し, 現在, 準備中	14	1.5% 8 %
3.検討したが実施を見送った	17	1.9%
4.実施するかどうか検討中	100	10.9%
5.未検討	656	71.6%

1 または 2 と回答された方は, 西暦何年何月から実施または実施予定であるかをご記入ください。(本稿では年のみ集計)

回答肢	回答館数
2000 年以前	1
2000 年～2005 年	5
2006 年～2010 年	61
2011 年～2013 年	54
2014 年～	12

*1 の回答館は問 6～問 9 及び問 11～問 17 にご回答願います。

*2 の回答館は問 6～問 8 及び問 11～問 17 にご回答願います。

*3 の回答館は問 10～問 17 にご回答願います。

*4 もしくは 5 の回答館は問 11～問 17 にご回答願います。

問 6 問 5 で1「実施中」もしくは2「実施予定」と回答した自治体にお尋ねします。

貴自治体の図書館では, “健康・医療情報に関

わるサービス”として, 具体的にどのような内容を展開, もしくは, 今後, 展開していく予定ですか。

あてはまる番号すべてをご記入ください。図書館で実施もしくは実施を予定しているサービスであっても, 貴自治体では, 健康・医療情報に関わるサービスの一環であると特にお考えになっていない場合は除きます。

回答肢	回答館数	%
1. 図書館の Web サイトに健康・医療情報に関するリンク集をつくる	50	35.5 %
2 健康・医療情報に関する新聞・雑誌記事のクリッピング(切り抜き)を提供している	25	17.7 %
3 健康・医療情報に関する資料(図書, 雑誌, パンフレットなど)を集め別置し, コーナーをつくる	121	85.8 %
4 闘病記を他の NDC 分類 916 の図書と別置, 提供している	99	70.2 %
5 図書リストやパスファインダーを作成する	87	61.7 %
6 展示を行う	98	69.5 %
7 健康に関する講演会, 講座を行う	66	46.8 %
8 健康・医療に関する外部の機関(病院・保健所・NPO など)への資料の団体貸出	23	16.3 %
9 健康・医療に関する外部の機関(病院・保健所・NPO など)での読みかせやおはなし会の実施	15	10.6 %
10 その他 (SQ6 へ)	13	9.2 %

SQ6: どのようなことですか。(具体的にお書きください。)

・ラジオ出演, 地元の医療機関を紹介する掲示板, データベース講習会, 地域包括ケアセンターとの連携。

問7 問5 で1「実施中」もしくは 2「実施予定」と回答した自治体にお尋ねします

7-1 貴自治体の図書館では、健康・医療分野の資料購入、データベースの契約、講座開催等に特化した予算がありますか、もしくは、今後、予算要求を行う予定がありますか。

回答肢	回答館数	%
特化予算なし	71	50.4%
50万円未満	21	14.9%
50万円～100万円未満	3	2.1%
100万円以上	2	1.4%
その他	1	0.7%

7-2 貴自治体の図書館において、健康・医療情報に関わるサービスの実施にあたって、人員を補充した場合、人数をご記入ください。

健康・医療情報サービスのみを担当[]名（うち非常勤・臨時職員等[]名）

	健康・医療情報サービスのみの担当 (合計)	うち非常勤・臨時職員等		
		1名	0名	未回答
1名	1	0	1	0
0名・なし等	58		37	21
未回答	82			82
合計	141	0	38	103

健康・医療情報サービス以外の職務を兼務 []名（うち非常勤・臨時職員等[]名）

	他の職務を兼務(合計)	うち非常勤・臨時職員等				
		4名以上	2～3名	0.5～1名	0名・なし等	未回答
4名以上	8	0	4	0	1	3
2～3名	13		7	1	5	0
0.5～1名	21			5	7	9

0名・なし等	27				21	6
未回答	72					72
合計	141	0	11	6	34	90

問8 問5 で 1「実施中」もしくは 2「実施予定」と回答した自治体にお尋ねします。

健康・医療情報に関する研修について、貴自治体の図書館ではどのように行っていますか。

8-1 貴自治体において、独自に、健康・医療情報に関する職員研修を実施したことがありますか。

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	23	16.3%
検討中	8	5.7%
未定	106	75.2 %

8-2 日本図書館協会(JLA)、日本医学図書館協会(JMLA)、都道府県立図書館等の機関が実施する健康・医療情報に関する研修に職員を派遣したことがありますか。

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	48	34.0%
検討中	11	7.8%
未定	78	55.3%

8-3 先進的な図書館の視察に職員を派遣したことがありますか。

回答肢	回答館数	%
実施済・実施予定	45	31.9%
検討中	10	7.1%
未定	85	60.3%

8-4 その他の取り組みがありますか。

回答肢	回答館数	%
ある(SQ8-4へ)	3	2.1%
ない	130	92.2%

SQ 8-4:どのようなことですか。(具体的にお書きください。)

・研修・視察は担当者が私費で、自主的に受講・参加。図書館総合展の関連フォーラムへの参加。区市町村立図書館職員へのレファレンス研修（講師）。

問9 問5 で1「実施中」と回答した自治体にお尋ねします。

貴自治体の図書館において健康・医療情報に関するサービスを実施した際の効果と課題について、あてはまるものすべての番号をご記入ください。

9-1 サービス実施の効果

回答肢	回答館数	%
1 利用者のニーズが把握できた	55	43.3%
2 医療・健康情報分野の選書の基準が明確になった	32	25.2%
3 レファレンスが案内しやすくなった	103	81.1%
4 地域に対して貢献ができた	53	41.7%
5 外部に対して図書館のPRができた	68	53.5%
6 特にない	3	2.4%
7 その他 (SQ9-1 へ)	7	5.5%

SQ 9-1:どのようなことですか。(具体的にお書きください。)

・テーマ配架・コーナーにより医療・健康情報へのアクセスが改善した。職員の意識・専門性が高まった。利用者の意識と認識が向上した。

9-2 サービス実施の課題

回答肢	回答館数	%
1 選書が難しい	73	57.5%
2 レファレンス対応が難しい(医療情報の提供を超える相談への対応, 科学的裏付けの少ない民間療法に関する事など)	72	56.7%
3 どのようなサービスをしたらよいかかわからない	12	9.4%
4 外部との連携が難しい	49	38.6%
5 図書館の健康・医療情報関連の提供資料が少ない	38	29.9%
6 利用状況が芳しくない	5	3.9%

7 専門知識を持った職員の確保・育成が難しい	82	64.6%
8 利用者への広報活動が難しい	29	22.8%
9 特にない	3	2.4%
10 その他 (SQ9-2 へ)	12	9.4%

SQ 9-2:どのようなことですか。(具体的にお書きください。)

・他図書館との連携や利用者のニーズの把握と周囲の理解, 予算確保。スペースの非拡張性と既存分類架と離別, 希少疾病資料の収集。職員のスキルと民間医療などの提供サービスの内容。

問10 問5 で 3) 検討したが実施を見送った と回答した自治体にお尋ねします。

実施を見送った理由について、あてはまるものすべてをご記入ください。

回答肢	回答館数	%
1 サービスの必要性(利用)が少ないと考えたため	2	11.8%
2 サービスの方法についてわからないため	1	5.9%
3 予算額が足りなかったため	5	29.4%
4 人的負担があるため	5	29.4%
5 その他 (SQ10 へ)	7	41.2%

SQ 10:どのような理由ですか。(具体的にお書きください。)(記述式)

・場所の確保, 配列の乱れ, 蔵書不足, 利用者のプライバシーに配慮。別置の必要がない(部門別カウンター, 個別のレファレンスで対応)。選書が難しい, 過去にあまり利用されなかった。

以下、すべての図書館にお尋ねします。

現在、国立がん研究センターがん対策情報センター(<http://ganjoho.jp/>)のような健康・医療情報に関するWeb サイトが充実しています。貴自治体におけるインターネットの利用に関して伺います。

問11 利用者が自由に使えるインターネット端末(蔵書検索以外にもインターネットのページが見られる端末)がありますか。

回答肢	回答館数	%
複数台ある (SQ11 へ)	549	59.9%
1台ある (SQ11 へ)	177	19.3 %
インターネット用はない	180	19.7%

SQ11: 利用者が自由に使えるインターネット端末があるとお答えの場合に伺います。利用者が自分で操作ができない場合、操作法を教えたり、希望するページを開いてあげるなどの支援は可能ですか。

回答肢	回答館数	%
1 支援している	560	77.1%
2 これまで例はないが、依頼があれば支援できる	94	12.9%
3 支援はできない	67	9.2%

問12 国立がん研究センターがん対策情報センターでは、がんに関する総合的な情報Web サイト(がん情報サービス)を提供しています。貴自治体の図書館ではこのWeb サイトを活用していますか。あてはまるものすべてをご記入ください。

回答肢	回答館数	%
閲覧用 PC にがん情報サービスへのリンクを貼っている	16	1.7%
ダウンロードした資料を閲覧できるように準備している	8	0.9%
がんに関する問合せがあったときに利用している	131	14.3%
がん情報サービスは知っているが、利用していない	264	28.8%
がん情報サービスについて知らなかった	477	52.1%

問13 国立がん研究センターがん対策情報センターでは、視覚障害などのある方向けの情報提供として、音訳資料やデジタル録音図書(DAISY)版の「がんの冊子」やがんに関する図書を提供しています。このようなサービスをご存じでしたか。

回答肢	回答館数	%
知っている (SQ13 へ)	119	13.0%
知らなかった	786	85.8 %

SQ 13: すでに活用・案内をしたことがありますか

回答肢	回答館数	%
はい	23	19.3%
いいえ	94	79.0%

問14 図書館やインターネットで情報を得にくい市民(視聴覚の障害をお持ちの方、高齢で外出困難な方など)に対し、実施しているサービスがあれば、内容を教えてください。

・宅配サービス、郵送サービス、移動図書館、代理貸出、公民館に図書コーナーを設置、拡大映写機、大活字本、点字図書、DAISY の貸出、録音資料貸出、対面朗読、音訳サービス、電話での予約、貸出延長申請を受ける、代理人による貸出カード再交付の申請の受付、音声付きインターネット検索性 PC の設置、字幕付映画会など。

独) 国立がん研究センターがん対策情報センターが刊行している図書についてうかがいます。

問15 貴自治体の図書館で所蔵しているものをご記入ください。

回答肢	回答館数	%
1 『患者必携がんになったら手にとるガイド』2011 (平成 23) 年 3 月発行	352	38.4%
2 『患者必携もしも、がんが再発したら』2012 (平成 24) 年 3 月発行	427	46.6%
3 『患者必携がんになったら手にとるガイド普及新版』2013 (平成 25) 年 9 月発行	95	10.4%
4 『わたしも、がんでした～がんと共に生きるための処方箋』2013 (平成 25) 年 9 月発行	370	40.4%

独) 国立がん研究センターがん対策情報センターが発行している約 50 種類の「がんの冊子」についてうかがいます。

問16 貴自治体の図書館では、国立がん研究センターがん対策情報センターが発行している「がんの冊子」を所蔵していますか。

回答肢	回答館数	%
はい (SQ16-1・SQ16-2へ)	221	22.1%
いいえ	683	74.6%

SQ 16-1:どのように置いていますか

回答肢	回答館数	%
健康・医療情報コーナーなど 特別コーナーに置いている	72	32.6%
一般開架に置いている	120	54.3%
閉架、書庫に置いている	22	10.0%
どこにあるのかわからない	1	0.5%

SQ16-2:「がんの冊子」について利用者からの反応があればお書き下さい。

・利用者から信頼され大変喜ばれている、図書として登録していないが利用頻度は高いと思う、高齢者より「見やすい」「分かりやすい」という話があった、冊子を見て Web サイトを紹介し喜ばれた、コピーをとる人がいる、チラシの棚に置いた、利用者の関心も高く冊子はすぐになくなった、合本して書架に配架したがより詳しく書かれた図書が側にあるためかあまり利用されなかった、各1冊ずつしかないので特禁扱い、特にない(複数館)など

問17 「がんの冊子」は、現在、がん情報サービスからダウンロードするか、「発注システム」を通じて、ご購入いただく形で提供しています。現在あるいは今後、貴自治体の所蔵のご希望についてうかがいます。

回答肢	回答館数	%
1 購入・所蔵している、所蔵の意向がある(SQ17へ)	43	4.7%
2. 無料で送ってくれたら所蔵する意向がある(SQ17へ)	700	76.7%
3. ダウンロードして所蔵している、もしくは所蔵する意	37	4.0%

向がある →SQ17へ		
4. 所蔵することは難しい→その理由を以下の空欄に具体的に記入ください	115	12.6%

*4 の所蔵が困難な理由

・薄い本は背表紙も見えずらくなり手にとられない、所蔵スペースが確保できない、利用者にダウンロードをすすめているため、購入には予算が少ない(回答複数)

SQ 17: 貴自治体の図書館で「がんの冊子」を配置している、もしくは今後所蔵するご意向がある場合にうかがいます。

がん情報サービスで、貴館で所蔵していることを公開や案内をすることについてのご意向をお聞かせください。

回答肢	回答館数	%
1 公開・案内してほしい	503	64.5%
2 公開・案内されるのは困る	100	12.8%
3 その他→以下の空欄に具体的に記入ください。	151	19.4%

*3 の具体的な記述

・除籍の可能性がある、無料で継続的に入手できるのであれば公開は可、公開は問題ないがコレクション等として扱うことはない、指定管理であるため、所蔵の部署より公開、案内する許可を得る必要があるなど。